

国際教育日本語弁論大会に参加しました（9月10日）

9月10日（水）平田高校プラタナス会館にて、第50回島根県国際教育日本語弁論大会・兼 第61回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール島根県予選が行われました。この大会は3つのテーマから1つを選び、意見発表をするものです。

- ①「もしも私が国連事務総長なら、国連で何をすべきか」
- ②「女性が輝く社会の実現に向けて日本と国連が協力すべきこと」
- ③「政府が掲げる積極的平和主義に基づき、日本はどのように国連の活動に関わっていくべきか」

参加者は難しいテーマに取り組み、どの生徒も立派に発表しました。本校から参加した2名は、自ら参加を申し出てくれました。学園祭の準備とも重なり、大変忙しい中でしたが、本を読み、考えをまとめ苦勞して原稿を仕上げました。平和への思いを、「平和ホームステイ」や「笑顔エネルギー」など高校生らしい観点で述べ、心温まる、優しさの感じられる内容でした。また、はっきりとした口調で堂々と発表ができました。聴衆として参加した本校ESS部の生徒との交流会もあり、感想を言い合うなど、和やかに意見交換をしました。

●大会結果（本校分）

| 氏名 | テーマ | 演題 | 賞 |
|-----------|-----|--------------|-------------------------|
| 原 一貴（3年） | ③ | 平和のために考えること | 島根県知事賞（最優秀賞・金賞） |
| 湯原 美久（2年） | ① | 身近なところに大きな鍵が | 島根県高等学校国際教育研究協議会会長賞（金賞） |

※最優秀賞受賞者の原 一貴さんは10月20日に東京で行われる第61回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール中央大会に出場します。



